令和５年度みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会事業活動報告書

単独事業

１．会議

総会：令和５年５月９日に開催され、令和４年度の事業報告及び令和５年度提案事業の説明。

専門部会：４つの部会で令和５年度の実施事業の説明及び令和６年度の提案事業の検討。

里山保全部会開催（令和５年９月２８日）
観光振興部会開催（令和５年９月２１日）
生産振興部会開催（令和５年９月２０日）
販売促進部会開催（令和５年９月２５日）

２．ホームページ管理運営【継続】

協議会のサイトや facebook で活動など情報発信を行っています。

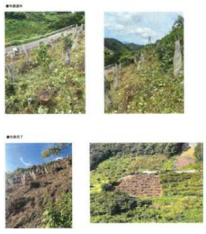
３．耕作放棄植樹地の草刈【継続】

令和３～４年度耕作放棄地伐採及び植樹事業を実施した場所の草刈を行っています。

①みなべ町東本庄
2,000 ㎡

②みなべ町清川
1,500 ㎡

③田辺市秋津川
4,000 ㎡



④田辺市上芳養地域
1,307 ㎡

４．啓発推進【継続】

①カレンダーの作製

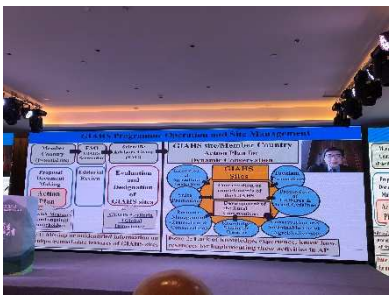
フォトコンテストを開催（募集期間：令和５年１月４日～令和５年８月３１日）
１６８作品の応募があり、各専門部会から選出されたカレンダー委員により入賞作品の選考会を行っています。（令和５年１０月１０日）
選考された写真をカレンダーに掲載。ホームページにてダウンロード可
写真採用された方に、国内世界農業遺産認定地域の特産品を贈呈しました。

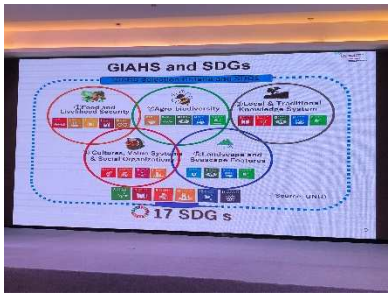
②学習副読本増刷【継続】

みなべ・田辺地域の小学校で、地域学習等に活用して頂けるように配布しました。
毎年、小学３年生を対象に増刷し配布しています。【1,000 部印刷】

③第７回東アジア農業遺産学会

令和５年６月５日（月）～７日（水）　中国浙江省麗水市慶元県
日本・韓国・中国の３カ国で構成する東アジア農業遺産学会が開催され、国連大学や各国からは政府関係者、世界農業遺産認定地域担当者・大学関係者が出席しました。
各国の世界農業遺産認定地域の取組として、中国や韓国では国策として地域にある自然を活用した教育や環境保全、産業と経済の両立に向けた国家プロジェクト、食文化に欠かせない自給自足による食材の確保、国産国内消費の推進事例発表などがありました。
また、主催者側から過去に開催した東アジア農業遺産学会開催地へ貢献と感謝を称えた式典も行われました。





地方創生推進交付金活用事業

Ⅰ．食料及び生計の保障

１．梅の海外プロモーション【継続】

在英国日本大使館に開催される天皇誕生日祝賀行事に地域の産品ＰＲとして、梅加工食品「うめじお」380 個を提供し、催事の参加者に配布されました。

２．認定地域間交流推進事業【継続】

国内認定地域が連携し、特産品の販売と世界農業遺産に認定された地域の魅力のＰＲを組み合わせたイベントを実施しています。

① 近鉄百貨店草津店主催（滋賀県内）
令和５年１０月７日（土）
世界農業遺産認定地域間の交流フェア
【のぼり、ミニのぼり、法被、パンフ、
ポスター展示、ＰＲ用テトラ梅干の配布】

② 熊本県主催
阿蘇地域世界農業遺産
認定１０周年記念シンポジウム（熊本県内）
令和５年１０月１２日（木）
阿蘇の司　ピラパークホテル
【ミニのぼり、パンフ、ポスター展示】

③ 静岡県主催
世界農業遺産「静岡の茶草場農法」
認定１０周年記念式典
令和５年１０月２０日（金）
掛川グランドホテル（静岡県内）
【のぼり、ミニのぼり、パンフ、ポスター展示
ＰＲ用テトラ梅干の配布】

④ 農林水産省主催
ツーリズムＥＸＰＯジャパン２０２３
令和５年１０月２８日（土）～２９日（日）
インテックス大阪（大阪市内）
※農業遺産、農泊ブースで出展
【ミニのぼり、法被、パンフ、ポスター展示
梅加工食品展示、ＰＲ用テトラ梅干の配布】

⑤　石川県主催

農業遺産シンポジウム、ユースセッション

令和５年１１月１０日（金）

和倉温泉　あえの風（石川県内）

ユースセッションでは、南部高校と神島高校が参加

【ミニのぼり、パンフ、パネル展示、
　ＰＲ用テトラ梅干の配布】

⑥　農林水産省主催

実りのフェスティバル

令和５年１１月１０日（金）～１１日（土）

ｻﾝｼｬｲﾝ ｲﾝｼﾃｨ ﾜｰﾙﾄﾞｲﾝﾎﾟｰﾄﾏｰﾄﾋﾞﾙ

４階展示ホール（東京都内）

※農業遺産ＰＲ、和歌山県ブースで出店
　農業遺産クイズ実施

【のぼり、ミニのぼり、腰巻、法被、パンフ、
　ポスター展示、ＰＲ用テトラ梅干の配布】

⑦　大分県主催

国東半島宇佐地域世界農業遺産

認定１０周年記念シンポジウム

令和５年１１月２１日（火）～２２日（水）

くにさき総合文化センター（大分県内）

【ミニのぼり、パンフ、ポスター展示】

⑧　日本航空（株）主催

和歌山県内農業遺産ＰＲ、社内販売

令和６年３月１４日（木）～１５日（金）

日本航空（株）本社　25 階ｽｶｲﾃﾗｽ（東京都内）

【のぼり、ミニのぼり、腰巻、法被、パンフ、
　ポスター展示、ＰＲ動画、ＰＲ用テトラ梅干配布】

⑨　本協議会による石川県の被災地へ支援物資搬入

石川県　能登町役場

令和６年３月１８日（月）～２０日（水）

【個別包装の梅干し 20,000 個搬入】

３．梅の機能性ＰＲ動画編集、制作【継続】

小中学校やイベント向けた世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」と梅の機能性、梅消費拡大に向けた動画を制作しました。梅料理の披露では、みなべ梅料理研究会などたくさんの人に関わっていただきました。

Ⅱ．生物多様性

４．生物多様性に関する勉強会等の開催【継続】

令和６年１月２７日（土）みなべ川森林組合作業所
梅の友ミツバチ保全会とみなべ梅郷クラブ員とともに「ニホンミツバチ巣箱作り」を開催し、梅農家さんなど２５名が参加しました。巣箱設置の際に蜜蜂飼育届の必要性を説明したうえで巣箱作りを行いました。

Ⅲ．地域の伝統的な知識システム

５．地域の伝統的な知識システム【継続】

令和６年３月９日（土）紀州備長炭振興館・みなべ川森林組合作業所
みなべ川森林組合と親子で備長炭風鈴作りと蒔き割体験を開催し、１５名が参加しました。
世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」や紀州備長炭の説明を行ったうえで、親子で備長炭風鈴づくりや蒔き割作業の体験を行いました。

Ⅳ．文化、価値観及び社会組織

６．都市農村交流推進事業【継続】

令和５年６月２８日（水）南部高校　食・農園科
日本ウェルビーイング推進協議会と昨年の梅収穫ワーケーションに参加した菅本香菜氏を招き、世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」・梅の機能性・梅消費拡大ＰＲを目的にした梅おむすび in　みなべ・田辺地域を開催しました。
高校生や参加者など８５名が梅干しなどを使ったおむすびを作り、交流などを行いました。

７．住民提案型地域活動支援事業【継続】

世界農業遺産に関する地域の自主的な活動に対して支援を行い、地域の活力を創出することを目的とする。

●令和５年５月８日（月）～１９日（金）に募集。申請５団体
令和５年６月２日（金）に審査会実施。採用５団体。

① 「輝く南部梅林」魅力再発見
（南部梅林糸川研究会）
【令和６年２月に開催され、男９名、女性６名が参加しました】

② 日本ミツバチの蜜源でもある蓮華草の復活と里山風景の保全
（株式会社　千香音.firm）
【希望者を募り、ドローンを使って蓮華草の種を水田にまき、蜜源確保と里山の風景を生かし、世界農業遺産の里をＰＲする活動が行われました】

③ 「みなべ・田辺の梅システム」周知啓発活動
（紀州田辺観梅協会）
【世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」を知っていただくための講演や上芳養小学校の生徒とウバメガシの植樹が行われました】

④ 紀州備長炭関係資材の展示による世界農業遺産のＰＲ事業
（秋津川振興会）
【田辺飲食業組合への備長炭風鈴・オブジェの提供、田辺エンプラスや紀伊田辺駅で備長炭風鈴を展示して、世界農業遺産のＰＲが行われました】

⑤ 梅干しＰＲイベント
（田辺観光協会）
【世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」のＰＲのために、田辺扇ヶ浜海水浴場や田辺市街地などのポケットパークで天日干しが行われました】

●令和５年８月１日～８月１０日に追加募集。申請１団体
令和５年９月６日に審査会実施。採用１団体。

⑥ 世界農業遺産みなべ・田辺の梅システムのＰＲ
（清川里山まつり実行委員会）
【世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」を持続、継承していくための啓発物としてモニュメント看板の建設を行いました】

①南部梅林糸川研究会　②秋津川振興会　③株式会社千香音.firm

④秋津川振興会

⑤田辺観光協会

⑥清川里山まつり実行委員会

８．海外研修生受け入れ【継続】

①令和５年７月２９日

県国際課を通じて、ベトナム国の高校生など２８名の視察を受け入れ、「みなべ・田辺の梅システム」についての学習を行いました、

②令和６年３月１日

ＪＩＣＡ及び（株）リロエクセルを通じて、ミャンマー国企業社員など１６名の視察を受け入れ、現地研修を行いました。

②令和６年３月１０日（日）～１１日（月）

海外拠点で活動している（株）Japan　Navi と海外からの企業社員や学生の視察研修受け入れに向けた新たな取組として、シンガポールに産地情報や「みなべ・田辺の梅システム」、地域の魅力などの情報発信を行いました。

９．モニタリング検証【新規】

令和５年８月１日（火）農林水産省世界農業遺産等専門家会議による現地視察のモニタリング検証が行われました。

みなべ・田辺地域における保全計画に基づく活動状況等については概ね適切に行われていることが確認できたと評価されました。

令和７年度から今後５カ年の活動維持に向けた保全計画については、専門家会議による助言を参考に取り組んでいくことになります。

Ⅴ．ランドスケープ及びシースケープの特徴

１０．住民主導支援事業【継続】

ワークショップから派生した４つのプロジェクトチームによる事業、令和５年度は３チームが事業を実施しました。

①　梅贈りプロジェクト

令和６年３月２２日（金）みなべ町生涯学習センターで
（株）幻冬舎取締役　設楽悠介氏、Ｂｕｎｔａ代表　濱　耕太氏、
一般社団法人　日本ウェルビーイング推進協議会代表理事
島田由香氏を招き、ＷＥＢ3.0×世界農業遺産座談会を開催、
３６名が参加し、ＷＥＢ3.0 を活用した地域づくりについて
学習しました。

②　世界農業遺産５周年記念プロジェクト

令和４年度に引き続き、みなべ百年の森にてプロジェクト関係者のみで令和５年１２月１７日（日）ウバメガシなど約１１０本の植樹を行うとともに、以前に植樹した苗木の生育状況を確認作業も行いました

③　まちキャンパスプロジェクト

(1) ウバメガシ植樹イベント
令和５年５月２１日（日）イオンモール和歌山

(2) 和歌山大学経済学部フィールドワーク
令和５年７月２３日（日）みなべ町内

(3) 高城中学校１年生への「梅システム」の学習
令和５年９月８日（金）高城中学校
「梅システム」地域学習

(4)　和歌山大学ひなたぽっと（クリエ）ツアー学習
令和５年１２月２日（土）～３日(日)みなべ町内
２回生のガイドによる１回生の修行学習

(8)　ニホンミツバチのひみつ
下敷きイラストデザイン制作、印刷

１１．耕作放棄地伐採及び植樹事業【継続】

増加傾向にある耕作放棄地の梅の木を伐採し、ウバメガシや広葉樹などの蜜源樹木を植樹することにより、周辺農地への病害虫対策及び備長炭の原木確保とニホンミツバチの保護に取り組んでいます。

①　みなべ町清川地区

事業実施期間　令和５年１０月１６日～令和６年３月４日

ウバメガシ　２００本植樹　　獣害防止シェルター　２００セット

事業実施面積　１，０００㎡

②　田辺市秋津川地区

事業実施期間　令和５年１２月１日～令和６年１月３０日

ウバメガシ他　３３３本植樹　　獣害防止シェルター　３３３セット

事業実施面積　２，０００㎡